



日刊 日九月十
日刊 日九月十
日刊 日九月十

ターブル・ドットは佛
語だ、ア・ラ・カルト
（操縦自由の一品料理）
に對して定食の献立を
云ふ、日頃に於ける軍
國ドラマのターブルド
ットなど云ふは何れも
定まつたもの詩と云意

此の流行は諸設備の不完
全なこと、衛生感念に乏しい
労働者が密居する炭礦所在地
に發生率の多いことを示して
ゐるので特にこの地帯に對し
て嚴重なる注意を促がし豫防
注射を奨めた結果昨十一年は
同施行のもの赤井一〇〇〇人
豊間四六四〇人計五八四〇人
に過ぎなかつたが今年十二年は
左記一三〇五五人を算してゐ
ると

内郷に捨てた獄衣
平刑務所を去る七日夜脱走し
た窃盗凶犯鈴木伊助(元)草野儀
一(三)は依然逮捕されずにお
るが其筋の嚴重なる捜査網を
潜つて逃げ足の當夜石城郡内
郷村の白水川平炭礦坑夫塚橋
守方へ忍び掛りサチ洋服と現
金卅圓を窃取し鈴木の着けて
ゐた青い獄衣を阿彌陀堂脇に
棄て、あるので兩人共地方の
地理が明らかであり巧みに落
のび失せてゐるのではないか
とも見られてゐる

平市國防婦人會では来る十日
午後二時から支部評議員會を
藤田女學校に於て開催新役員
に辭令交付後支部結成式を舉
げ引續いて諸般の協議をなす
と見られてゐる

平市國防婦人會では来る十日
午後二時から支部評議員會を
藤田女學校に於て開催新役員
に辭令交付後支部結成式を舉
げ引續いて諸般の協議をなす
と見られてゐる

平市國防婦人會では来る十日
午後二時から支部評議員會を
藤田女學校に於て開催新役員
に辭令交付後支部結成式を舉
げ引續いて諸般の協議をなす
と見られてゐる

緊急でもない物に 不穩當な動議採用

氣付かなかつた云ふなら 非常識な市會議員だ

平市が平小鐵道の布設に對し
て年來の希望に遂げられず
て來た片瀨廻りの陳情を去る
六日の市會に於て湯本近回も
敢て差支なし白紙に還つて同
鐵道の急進促進を當局に請は
んとする一部の動議が端なく
も可否の兩者に論争を惹き起
し右動議の反對側が揃つて慎
重な態度を持し極めて穩健な
實な主張に努めたが遂に動議
賛成派の多數に押されて寧ろ
運動をせざるもがなの同案に
珍妙な促進陳情委員をまで野
崎議長は指名決定を見たる有
様に多數傍聴者をして市會
の愚を嗤はしめてゐるが平市
に取つては補欠の市參事會
員が誰になるかと云ふが如きも
のとは比較できない重大問題
しかも出席議員中現事の提
示案件を見て事故の爲め數名
の中途退場ありたる後に突如
として唱ひ出された所記の動
議に對し何等緊急を要すべき
でない實際の事情上これを他
日に議することの穩健を用ひず
恰も機會を得たるが如き過二
無二的の採決を見るに至つた
ことは甚だしき憂狀である
も語られ尚ほ動議反對側が市
民多年の希望を抹消するが如
き同案に忍びず調査委員を上
げて然る後に態度を決しては
との慎重な提唱をも居残り議

入營期

平市に於ける本年檢丁から六
十一名の入營を決定せられたが
區分及び入營期日は左記の如
くである

昭和二十二年一月十日入營歩
二九(中松)歩鈴木春治 高
木益利 根本善文 佐藤貞
一 櫻山正平 吉田健雄
高橋正男 秋山正一 鈴木
志郎 大橋義房 大塚正治
渡邊登 寺田久 野立山一
台(高田)山白土草 岩崎庄三
二(仙台)工角田留男 輻
三(仙台)輻内重利 九月
一日歩四(仙台)補衛阿部健
治 十二月一日近歩二(東
飛)歩柳井清一 七月十日
飛七(靜岡縣若松)飛吉田伴
三 六月十日飛九(朝鮮威
鏡北道會寧郡城面)飛錦
木守 十二月十日歩七(大
朝鮮羅南)歩阿部重雄 海

四倉商市況

平均四一四二
四倉商市場昨日の出荷は一
三〇五五二六〇及左記相場
に取引された

最高四三三八〇 最低三三六

小濱港の修築續工

六萬圓の同工事今日決裁

石城郡植田町小濱港の繼續修
築は同町に於て縣委任工事を
願出たが今日九日縣營工事
(六萬圓)の決裁通牒に接した
平土木監督所では直ちに施行
準備に取かゝつたが所要器具
機械は全部大體工事を完成を告
ぐる相馬郡松川浦の漁港修築
から送られる等で見張所及び
倉庫の建設等を整へ防波堤を
延長するコンクリートのケー
ソン(十八ト)二十九個の造
りに着手するもの、如く本月
中旬頃から實工に移り得る

商業組合 講演會

併せて映畫會
圓八〇 平均四一四二
本縣商業組合會及び縣、平
市役所、平商工會主催の商業
組合講演會と映畫會は既報の
如く来る十一日午後六時から
平市警察館に於て催され實際
商業に従事する青年以上の當
業及び商業學校生徒並びに中
等校以上の學生と一般にあり
ても青年者以上に限り入場さ
せることになつてゐるが講演
と映畫は左の如くである

▲講演「中小商業業者の間
題」福島高等商業教授田中
三郎氏 ▲映畫「協力の光」そ
の他

鐵道往生

夏井川砂利採取夫
石城郡夏井村の下大越字細田
星野喜一(三)は毎日郡赤井村
西小川字蕪田地内の夏井川か
ら砂利採取に従事し自宅より
自動車で通つてゐた去る七日
自車で通つてゐた去る七日
自車で通つてゐた去る七日

平市國防婦人會 評議員會

平市國防婦人會では来る十日
午後二時から支部評議員會を
藤田女學校に於て開催新役員
に辭令交付後支部結成式を舉
げ引續いて諸般の協議をなす
と見られてゐる

平市日用物價

九月末に於ける日用物價は
諸物高の趨勢に若干の騰貴を
唱ひられてはゐるが去る九月
末日の現在相場は一ヶ月前に
比して大した値上がなく小賣

豫防注射

一萬二千三百五人
平署では管下各町村の衛生施
設に對し殊に非常時局の折柄
保健に留意されるやう過ぐる
町村衛生主任會に強調された
が傳染病の發生は人口の上か
ら平市が第一位で次は内郷村
好間、小名濱、湯本、磐崎、
江名が多く患者を出だして

選定の守則

農林省が掲ぐる戒示
生産物は信用確實なる取引
業者を選定してこれに販賣
すること

なほ右の外、一時的現象と
しては軍需關係の農産加工品
への増産が期待されてゐる、右
に於ては販路に相當な變化があり
現在東北物産販賣會館から

大盡遊び

石城郡三坂村の差懸農草野公
菜(四)同本助千代吉(三)は去
る六日午後四時頃平市鎌田遊
園に闖入り大盡遊びをして來た列
車に觸れて轢死を遂げ九

自動車料金値上に付謹告

自動車並部分品及ガソリン暴騰に付
無己來る本月十五日より二割内外の
料金値上を致ますから御諒承願ます

一、ガソリン(一ガロン時價最低三十二錢)
一部 自動車(四割内外の騰貴)
以上

福島縣自動車協會平支部

本變の關係で支那方面へ輸
出されぬ副産品が相當出來
たわけで、これは一時的と
は云ひながら經濟上重大な
問題であるから主として副
産物の増産、兎毛皮の生産
などに轉向した方がよいで
はないかと考へてゐる

これなどは需要に於ては殆
んど無限と云つてよいので
あるから地方的に統制をと

青果市況

平中央青(厘單位)
果市場調(厘單位) 安値

長茄子(百斤)	七〇〇
丸茄子(百斤)	七〇〇
牛蒡(百斤)	七〇〇
馬鈴薯(百斤)	七〇〇
大根(十本)	四〇〇
葱(十把)	四〇〇
甘藷(百斤)	八〇〇
里芋(百斤)	八〇〇
無花果(百斤)	一〇〇〇
松茸(百斤)	一〇〇〇
シメジ(百斤)	一〇〇〇
栗(百斤)	一〇〇〇

文魁文堂

古梅園の墨
電話三一三番

商業組合 講演會

併せて映畫會
圓八〇 平均四一四二
本縣商業組合會及び縣、平
市役所、平商工會主催の商業
組合講演會と映畫會は既報の
如く来る十一日午後六時から
平市警察館に於て催され實際
商業に従事する青年以上の當
業及び商業學校生徒並びに中
等校以上の學生と一般にあり
ても青年者以上に限り入場さ
せることになつてゐるが講演
と映畫は左の如くである

鐵道往生

夏井川砂利採取夫
石城郡夏井村の下大越字細田
星野喜一(三)は毎日郡赤井村
西小川字蕪田地内の夏井川か
ら砂利採取に従事し自宅より
自動車で通つてゐた去る七日
自車で通つてゐた去る七日
自車で通つてゐた去る七日

平市國防婦人會 評議員會

平市國防婦人會では来る十日
午後二時から支部評議員會を
藤田女學校に於て開催新役員
に辭令交付後支部結成式を舉
げ引續いて諸般の協議をなす
と見られてゐる

平市日用物價

九月末に於ける日用物價は
諸物高の趨勢に若干の騰貴を
唱ひられてはゐるが去る九月
末日の現在相場は一ヶ月前に
比して大した値上がなく小賣

自動車料金値上に付謹告

自動車並部分品及ガソリン暴騰に付
無己來る本月十五日より二割内外の
料金値上を致ますから御諒承願ます

一、ガソリン(一ガロン時價最低三十二錢)
一部 自動車(四割内外の騰貴)
以上

福島縣自動車協會平支部

本變の關係で支那方面へ輸
出されぬ副産品が相當出來
たわけで、これは一時的と
は云ひながら經濟上重大な
問題であるから主として副
産物の増産、兎毛皮の生産
などに轉向した方がよいで
はないかと考へてゐる

これなどは需要に於ては殆
んど無限と云つてよいので
あるから地方的に統制をと

青果市況

平中央青(厘單位)
果市場調(厘單位) 安値

長茄子(百斤)	七〇〇
丸茄子(百斤)	七〇〇
牛蒡(百斤)	七〇〇
馬鈴薯(百斤)	七〇〇
大根(十本)	四〇〇
葱(十把)	四〇〇
甘藷(百斤)	八〇〇
里芋(百斤)	八〇〇
無花果(百斤)	一〇〇〇
松茸(百斤)	一〇〇〇
シメジ(百斤)	一〇〇〇
栗(百斤)	一〇〇〇

文魁文堂

古梅園の墨
電話三一三番

農業のついで

二化メイ虫の誘殺除 (上)

「いたどり」一別名馬すつかんぼ」利用
 二化メイ虫の誘殺除 (上)
 いたどり一別名馬すつかんぼ」を利用して二化メイ虫の越冬幼虫を誘殺する妙法は例年同害虫の爲め被害を受けてゐる山形縣下に於ける被害面積一萬餘千町歩に及ぶものに對して農林省が年に四千圓の補助金を交付しこれが豫防方法の研究を續けて來たが過去十ヶ年間に於ける苦心の結果が遂にこの誘殺除が最も効果的であることを判然としたもので同研究は今年一杯でこれが總事業を打ち切り向後は奨励に力をかけることになり同縣農務課では差當り被害の甚大な地方の農業者行組合に對し十五圓程度の助成金を交付する案が進められてゐる、右いたどり利用の越冬幼虫誘殺の大要を上ぐれば、
 二化メイ虫は攝氏廿四度を前後に最も強い繁殖力をもつてゐるが之れを同地方の耕作時期に見ると五、六、七月と云つた田植期から出穂期に至る大切な時候に於れてゐるので従つて此の被害も甚大なわけで幼虫は五十三度で死滅するのを利用して二化メイ虫の甚だしたつた稲作の葉は出来るだけ堆肥に用ひ七十五度からの發熱で殺すほか、冬を越さうとする幼虫が住んでゐる葉を細工などに利用する爲め田圃或は小屋に積み重ねる時葉束の間に「いたどり」をはさめば大部分が葉から「いたどり」に移つて冬を越すこ

とになるの、これを取り除いて焼きてそのが最も効果あるものであると云ふのである。

◆一級印刷物も割引受致します
 新しいわき新聞社

牛も豚も優良品の自慢
 肉の御 三三三 平市 田町
 用命は 三三三

看護婦
 平市新川町二七(電四六四)
 血液検査毎日
 イツテモ
 入院デキマス

スペインG・H・N 元話
 ゴルフポートワイン
 甘味葡萄酒 1.10
 婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
 (平2) 西村屋薬舗 (電3)

デリーサーブ

日	品	目	定	品	目	定
月	カツレツ	三	品	三	品	三
火	ポーク	三	品	三	品	三
水	ビーフ	三	品	三	品	三
木	メンチ	三	品	三	品	三
金	コロッセ	三	品	三	品	三
土	ビーフ	三	品	三	品	三
日	ランチ	三	品	三	品	三

差引にて
 差上ります

外科一般 内臓外科
 レントゲン 泌尿器科
 診察 北川外科
 書夜
 (血液検査毎日)
 イツテモ
 入院デキマス
 平市新川町二七(電四六四)
 醫師 北川芳夫
 技師 三浦常保

愈々防寒具の御用意を!
 秋=冬=秋
 子供 大人
 帽子
 毛糸服
 毛シャツ
 綿製品
 ツルヤ
 豊富陳列
 平四・電一四〇

特にマルトモのランチは...
 材料のおきかきを願つて居る感め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出来ますので御華客様からいつも御好評を蒙りて居ります
 御来店御召上りの時も御來客様用仕出し等願つて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節の調材料で美味快適なものを調進上出来ますので之また非常に御好評で御座います
 RESTAURANT MARUTOMO
 堂食モトルマ
 平市町 車場通
 電話 二二三

安田系統の帝國海上
 帝國海上火災保險株式會社
 平代理店 關内正一
 平町二丁目 電話一六番
 事務取扱者 阿部助次郎
 レストラン
 喫食 茶事
 酒場を兼ねた。
 町田平 二五三電

目科療診
 一、齒科 一般
 保存科、補綴科、矯齒工科
 廣列矯正科、小兒齒科、歯槽膿漏科
 一、口唇外科
 レントゲン科
 院長 日本齒科 中野貴科醫院
 日本齒科 中野貴科醫院
 日本齒科 西川誠
 電話五〇九番

病室増築、手術室完備
 産科 醫學博士
 婦人科 五十嵐雄二
 平市新川町「電話三六九番」

高久病院
 内科、小兒科 平市町 電話五一三番
 外科、花柳病科
 耳鼻咽喉科
 レントゲン科
 院長 醫學士 高久忠

水久喜 町南市平
 電話二七七八